

2020年12月8日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2020年12月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2020年12月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

調査結果要旨

景況の水準	リーマンショック以来の低水準となった6月期調査から2期連続で上昇。低水準ながら持ち直しの動きが続いている。特に生産活動、個人消費が回復傾向にある。
景況の方向	自動車関連を中心に生産活動の回復を見込む中、足元では新型コロナ第3波が危惧され消費活動の先行きへの警戒感が再燃、弱気の見通しが続く。
新型コロナの影響	新型コロナウイルスによる地域経済への影響は、「かなりある」との回答が最も多い。「極めて大きい」「非常に大きい」の割合が減少するなど影響は低下傾向にある。こうした地域経済への影響は、2021年後半以降まで続くとする声が半数を超えており、経済活動の正常化にはまだ時間がかかると想定。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にある**OKB大垣共立銀行の支店長を調査対象**としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景況の水準と方向を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景況水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・後藤 TEL:0584-74-2631 FAX:0584-47-7882】

OKB景況指数（2020年12月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある114支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気方向
- (3) 調査方法 2020年11月中旬に調査票を配付・回収

調査結果

景気的水準：リーマンショック以来の低水準となった6月期調査から2期連続で上昇。低水準ながら持ち直しの動きが続いている。特に「生産活動」や「個人消費」が回復傾向にある。

景気方向：自動車関連を中心に生産活動の回復を見込む中、足元では新型コロナ第3波が危惧され、消費活動の先行きへの警戒感が再燃、弱気の見通しが続く。

	景気的水準(2020年12月期)	景気方向(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> ・景気全般は2期連続上昇、▲46.9（前回比+24.4）となった。特に「個人消費」や「生産活動」が回復傾向にあり、低水準ながら持ち直してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・▲8.3と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの業種が受注・売上減となっていたが、底を打った感あり。特に自動車関連では回復傾向にある。一方、工作機械関連や航空機関連は依然厳しい状況。 ・「GoTo キャンペーン」の効果もあり、観光や飲食産業の客足は回復しつつあるが、第3波の影響次第では逆戻りする可能性も十分考えられる。 	
県別	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県▲45.3（前回比+27.0）、岐阜県▲48.0（前回比+22.4）と2期連続で上昇、持ち直しの動きがみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県は▲10.8と「悪化」超 ・岐阜県は▲7.1と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県では、自動車関連を中心に一部の製造業の生産活動がコロナ禍前の水準に戻りつつある。 ・岐阜県では、自動車関連製造業の工場稼働率に回復の動きが見られ、金融市場も堅調なことから、最悪期は脱したと考える企業は多い。ただし引き続き留意は必要。 	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域で前回から二桁上昇、2期連続で持ち直しの動きが見られた。 ・特に、生産活動がコロナ禍前に戻りつつある西三河、東三河地域では、他地域に比べ回復が顕著。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良化」超 西三河、東三河、飛騨・郡上 ・「悪化」超 名古屋、東尾張、西尾張、岐阜、西濃
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【西三河地域】 自動車部品メーカーでは自動車生産台数回復の動きを受け、4月～6月を底に夏場以降は業績回復顕著。ただし、自動車関連でも試作部品や金型製造業は依然受注少なく業績は芳しくない。</p> <p>【西濃地域】 自動車関連製造業は8月以降単月ベースではほぼ前年並みに回復。新型コロナの影響が大きい飲食・サービス業も回復傾向にある。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> ・「全地域」を項目別に見ると、「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」で上昇。特に「生産活動」（前回比+35.0）、「個人消費」（前回比+25.0）で回復傾向がみられる。 ・「資金需要」は▲8.3（前回比▲52.8）と一服感。マイナスは3期ぶり。 ・「雇用」は▲14.2（前回比+9.4）と落ち着きは見られたものの「過剰」超が継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「増加」超 「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」 ・「減少」超 「個人消費」、「資金需要」 ・「過剰」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：消費喚起策である「GoTo キャンペーン」を受け、個人消費は増加傾向。ただし、これらの施策が終了すれば、再び低迷することが懸念される。</p> <p>「生産活動」：自動車関連製造業では、大手自動車メーカーの増産に伴い受注回復が見られる。</p> <p>「設備投資」：一部の自動車関連企業においては設備更新需要が回復し始めているが、コロナ禍の収束が見えない中での投資に消極的な企業が多く、総体的にはまだまだ冷え込んでいる状態である。</p> <p>「企業収益」：生産活動は活発になってきたものの、4～8月までの新型コロナによる売上低迷期が収益に影響している。</p> <p>「雇用」：雇用助成金により何とか雇用維持をしているものの、助成期限終了後の動向が不透明。年明け以降の更なる給与減少や人員削減が懸念される。</p>	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントが付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2020年12月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	▲47.5 (+21.9) ↑	▲25.0 (+36.1) ↑	▲2.5 (+44.7) ↑	▲57.5 (+11.9) ↑	▲55.0 (+3.3) ↑	10.0 (▲45.6) ↓	▲25.0 (+5.6) ↑
東尾張	▲56.0 (+25.5) ↑	▲38.0 (+21.3) ↑	▲40.0 (+24.8) ↑	▲58.0 (▲2.4) ↓	▲66.0 (+19.2) ↑	▲6.0 (▲56.0) ↓	▲12.0 (+10.2) ↑
西尾張	▲50.0 (+25.0) ↑	▲25.0 (+34.4) ↑	▲31.3 (+46.9) ↑	▲59.4 (+21.9) ↑	▲59.4 (+9.4) ↑	▲34.4 (▲68.8) ↓	▲28.1 (▲3.1) ↓
西三河	▲25.0 (+25.0) ↑	▲25.0 (0.0) ⇐	0.0 (+75.0) ↑	▲37.5 (+50.0) ↑	▲75.0 (0.0) ⇐	▲12.5 (▲62.5) ↓	▲25.0 (0.0) ⇐
東三河	0.0 (+60.0) ↑	0.0 (+10.0) ↑	20.0 (+40.0) ↑	10.0 (+30.0) ↑	▲20.0 (+40.0) ↑	10.0 (▲10.0) ↓	20.0 (+60.0) ↑
岐阜	▲47.8 (+25.6) ↑	▲35.6 (+18.9) ↑	▲26.7 (+42.2) ↑	▲45.6 (+22.2) ↑	▲54.4 (+18.9) ↑	▲16.7 (▲56.7) ↓	▲8.9 (+10.0) ↑
西濃	▲46.6 (+25.9) ↑	▲27.6 (+37.9) ↑	▲37.9 (+17.2) ↑	▲56.9 (+10.3) ↑	▲58.6 (+10.3) ↑	▲3.4 (▲44.8) ↓	0.0 (+15.5) ↑
東濃・可茂	▲50.0 (+11.1) ↑	▲27.8 (+16.7) ↑	▲33.3 (+27.8) ↑	▲50.0 (+22.2) ↑	▲16.7 (+44.4) ↑	▲16.7 (▲66.7) ↓	▲27.8 (+22.2) ↑
飛騨・郡上	▲50.0 (+16.7) ↑	▲33.3 (+33.3) ↑	▲16.7 (+50.0) ↑	▲66.7 (0.0) ⇐	▲33.3 (+16.7) ↑	50.0 (▲16.7) ↓	0.0 (▲16.7) ↓
桑名・四日市	▲50.0 (+25.0) ↑	▲12.5 (+25.0) ↑	▲50.0 (0.0) ⇐	▲50.0 (+25.0) ↑	▲75.0 (0.0) ⇐	▲12.5 (▲50.0) ↓	▲37.5 (▲12.5) ↓
愛知県(5地域)	▲45.3 (+27.0) ↑	▲27.7 (+25.0) ↑	▲19.6 (+41.9) ↑	▲51.4 (+14.2) ↑	▲59.5 (+12.8) ↑	▲7.4 (▲53.4) ↓	▲18.2 (+8.1) ↑
岐阜県(4地域)	▲48.0 (+22.4) ↑	▲31.6 (+25.0) ↑	▲30.6 (+32.7) ↑	▲51.0 (+17.3) ↑	▲47.4 (+20.9) ↑	▲8.7 (▲52.6) ↓	▲9.2 (+12.2) ↑
三重(1地域)	▲50.0 (+25.0) ↑	▲12.5 (+25.0) ↑	▲50.0 (0.0) ⇐	▲50.0 (+25.0) ↑	▲75.0 (0.0) ⇐	▲12.5 (▲50.0) ↓	▲37.5 (▲12.5) ↓
全地域	▲46.9 (+24.4) ↑	▲29.2 (+25.0) ↑	▲26.9 (+35.0) ↑	▲51.1 (+16.4) ↑	▲53.6 (+16.7) ↑	▲8.3 (▲52.8) ↓	▲14.2 (+9.4) ↑

(*1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントが付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(*2) ()内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2021年3月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲25.0 ↓	▲15.0 ↓	20.0 ↑	0.0 ⇐	10.0 ↑	▲10.0 ↓	0.0 ⇐
東尾張	▲20.0 ↓	▲4.0 ↓	4.0 ↑	12.0 ↑	24.0 ↑	12.0 ↑	0.0 ⇐
西尾張	▲25.0 ↓	▲25.0 ↓	▲12.5 ↓	▲18.8 ↓	0.0 ⇐	▲12.5 ↓	▲25.0 ↓
西三河	50.0 ↑	25.0 ↑	50.0 ↑	0.0 ⇐	25.0 ↑	▲25.0 ↓	0.0 ⇐
東三河	40.0 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
岐阜	▲13.3 ↓	▲22.2 ↓	▲8.9 ↓	▲2.2 ↓	▲11.1 ↓	6.7 ↑	8.9 ↑
西濃	▲10.3 ↓	3.4 ↑	▲3.4 ↓	10.3 ↑	3.4 ↑	3.4 ↑	▲3.4 ↓
東濃・可茂	0.0 ⇐	▲11.1 ↓	22.2 ↑	11.1 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
飛騨・郡上	33.3 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲66.7 ↓	0.0 ⇐
桑名・四日市	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
愛知県(5地域)	▲10.8 ↓	▲8.1 ↓	9.5 ↑	0.0 ⇐	13.5 ↑	▲4.1 ↓	▲5.4 ↓
岐阜県(4地域)	▲7.1 ↓	▲11.2 ↓	▲1.0 ↓	4.1 ↑	▲4.1 ↓	0.0 ⇐	3.1 ↑
三重(1地域)	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐
全地域	▲8.3 ↓	▲9.4 ↓	3.3 ↑	2.2 ↑	3.3 ↑	▲1.7 ↓	▲0.6 ↓

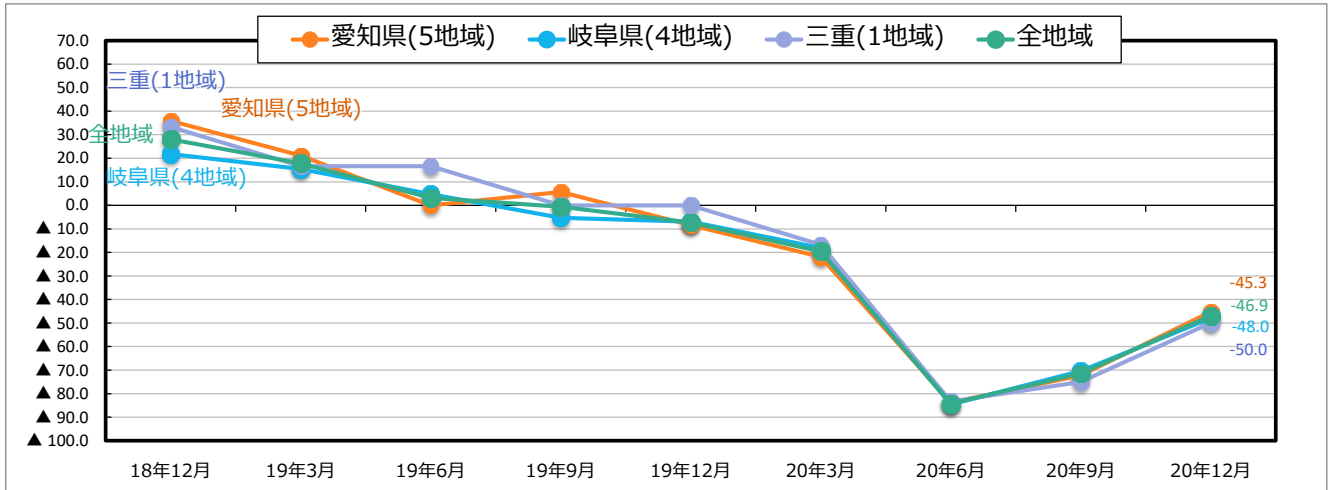
(*) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

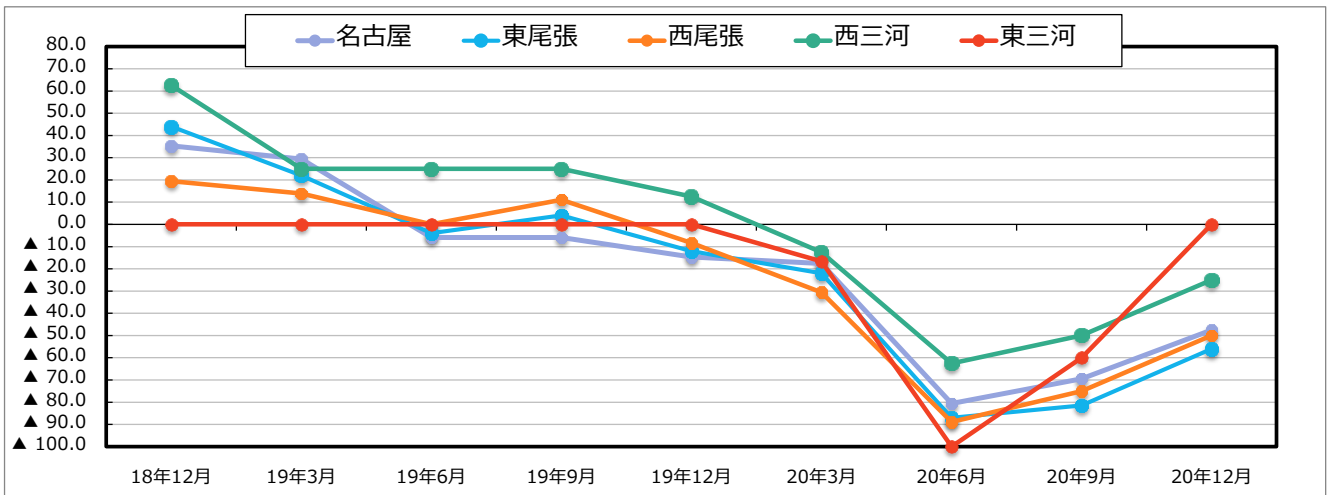
「景気の水準」の推移

■ 県別

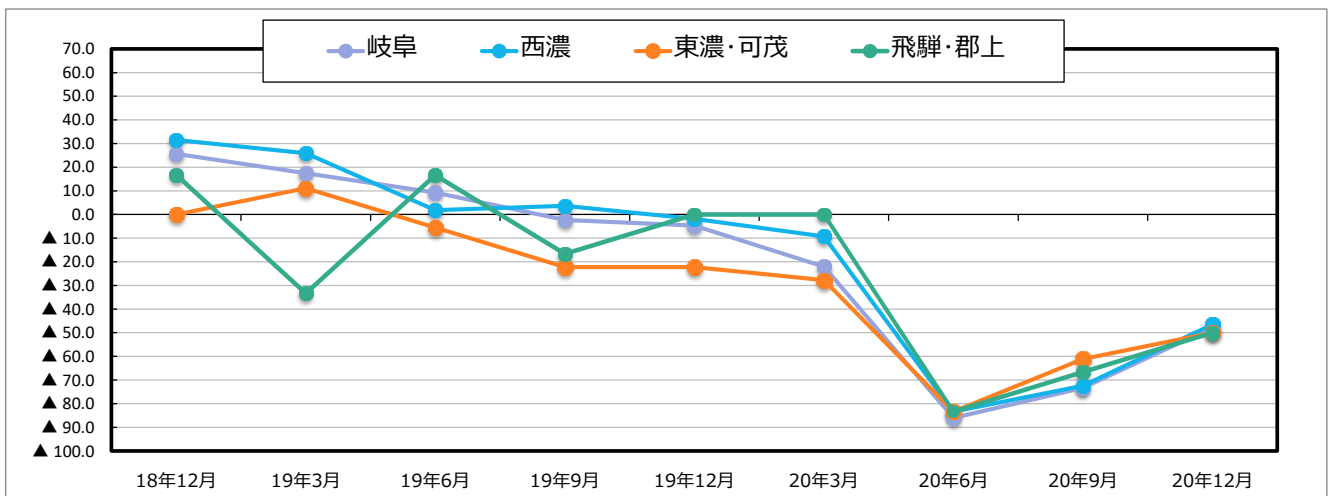


■ 地域別

① 愛知県内



② 岐阜県内



追加調査

「新型コロナウイルスによる地域経済への影響」

地域経済への新型コロナウイルスによる影響を観測するため、6 月期調査より、景況調査の各項目への「新型コロナ感染症による影響」について尋ねている。地域の景況感に対する新型コロナの影響について、県別・項目別に見ていきたい。

影響度の指数化について

※指数はOKB景況指数の算出同様、各項目の回答に表のポイントを付与、支店の規模によるウェイト調整を行ったうえで算出している。全支店長が「極めて大きい」と回答した場合は最高点の4、全支店長が「影響はない」と回答した場合は最低点の0となる。

調査項目への新型コロナの影響の大きさ	付与ポイント
影響はない	0ポイント
ややある	1ポイント
かなりある	2ポイント
非常に大きい	3ポイント
極めて大きい	4ポイント

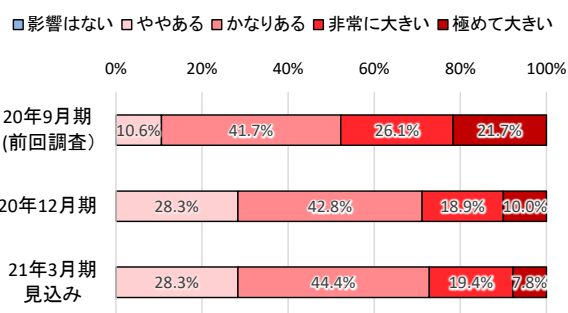
(1) 新型コロナによる地域経済への影響は、「かなりある」が42.8%と最も多かった。「極めて大きい」、「非常に大きい」が合わせて前回比▲18.9ポイントとなるなど、影響は低下傾向。

景況調査の各項目への「新型コロナによる影響」について尋ねたところ、景気全般では「極めて大きい」が10.0%、「非常に大きい」が18.9%、「かなりある」が42.8%、「ややある」が28.3%、「影響はない」の回答はゼロだった。前回（9月期）調査から、「極めて大きい」、「非常に大きい」の割合が減少、一方で「ややある」が上昇した。

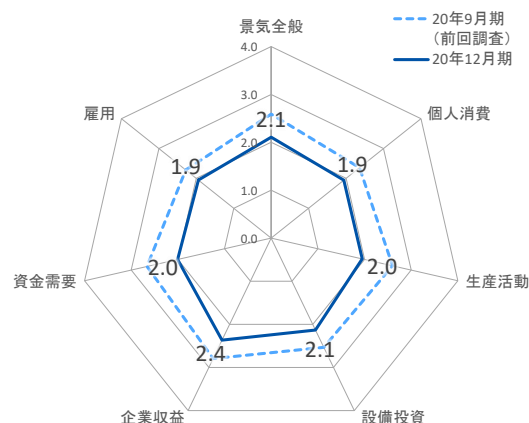
景気全般の影響度は2.1、前回比▲0.5となるなど、全項目において9月期調査から低下。そのようななか、「企業収益」は他項目に比べ指数がやや高く、依然として新型コロナの影響が大きいことがうかがえる。また、前回やや数値の高かった「生産活動」、「資金需要」は今回調査で他項目と同程度となっており、他項目と比べても影響が低下したことがうかがえる。

ただ、3ヵ月後の見通しについて、各調査項目への「新型コロナによる影響」は、今回調査の回答割合と同程度となっており、新型コロナによる経済活動への影響が大きく改善することは見込まれていない。

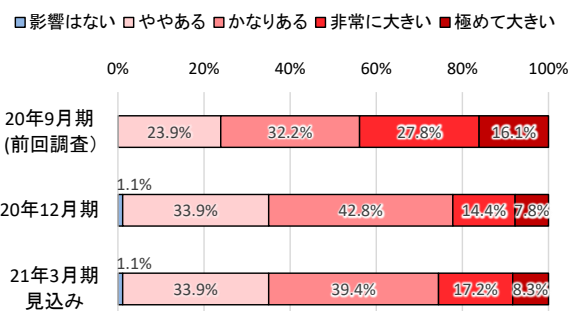
・新型コロナの影響について（全地域・景気全般）



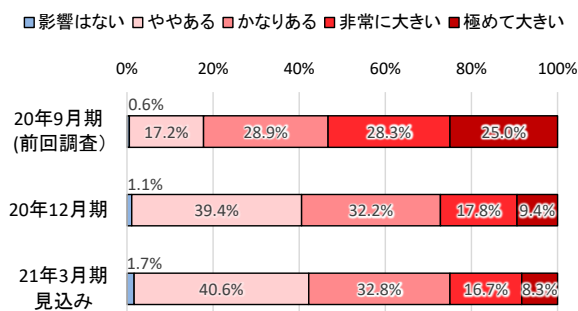
・新型コロナの影響度（全地域・各項目）



・新型コロナの影響について（全地域・個人消費）



・新型コロナの影響について（全地域・生産活動）



(2) 愛知県、岐阜県とも新型コロナによる景気全般への影響度はやや低下。

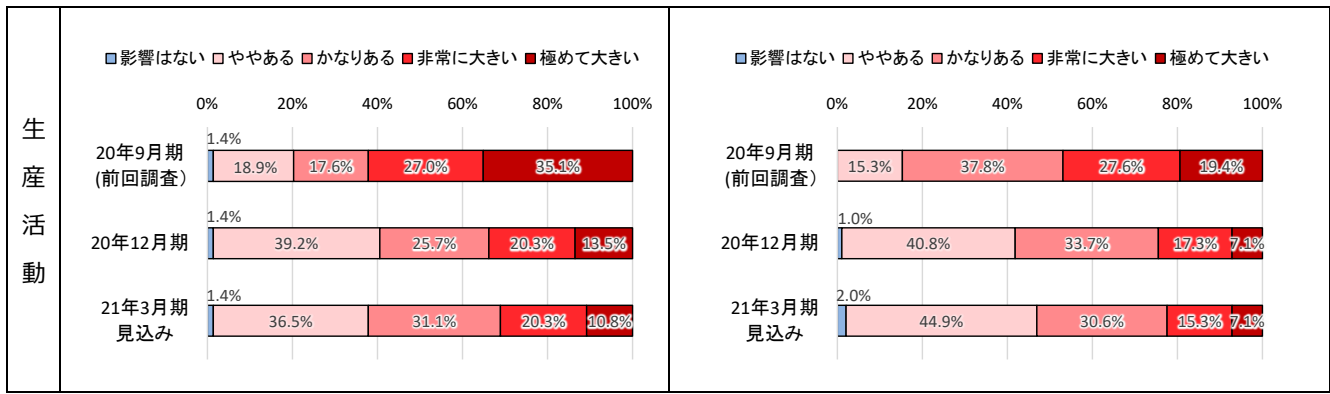
県別に新型コロナの影響度をみると、「景気全般」に対する影響度は、愛知県が 2.3、岐阜県が 2.0 と、両県とも影響度は前回調査から低下。両県ともすべての項目で影響度がやや低下している。特に、前回との差が大きい項目は「生産活動」、「資金需要」。両項目については、OKB景況指数においても、前回調査時から「生産活動」は大きくプラス、「資金需要」は大きくマイナスとなっており、両項目における新型コロナの影響は、前回調査に比しやや落ち着いたと思われる。

また、両県とも影響の低下傾向はみられたものの、「資金需要」以外の影響度は、愛知県が岐阜県を上回っており、とりわけ「個人消費」、「設備投資」などでその差が大きくなっている。

「景気全般」への影響について、「極めて大きい」「非常に大きい」の回答を合わせると、愛知県 33.8%、岐阜県 27.5%と、愛知県が岐阜県を上回った。特に、両県の差が見られたのは「個人消費」で、岐阜県では「極めて大きい」、「非常に大きい」の回答が合わせて 13.3%と大きく低下（前回比▲26.5ポイント）した一方、愛知県は 36.5%と高い水準にあり、低下幅（前回比▲12.1%）も小さく、依然として影響が大きいことがうかがえる。

・新型コロナの影響について（県別・項目別）

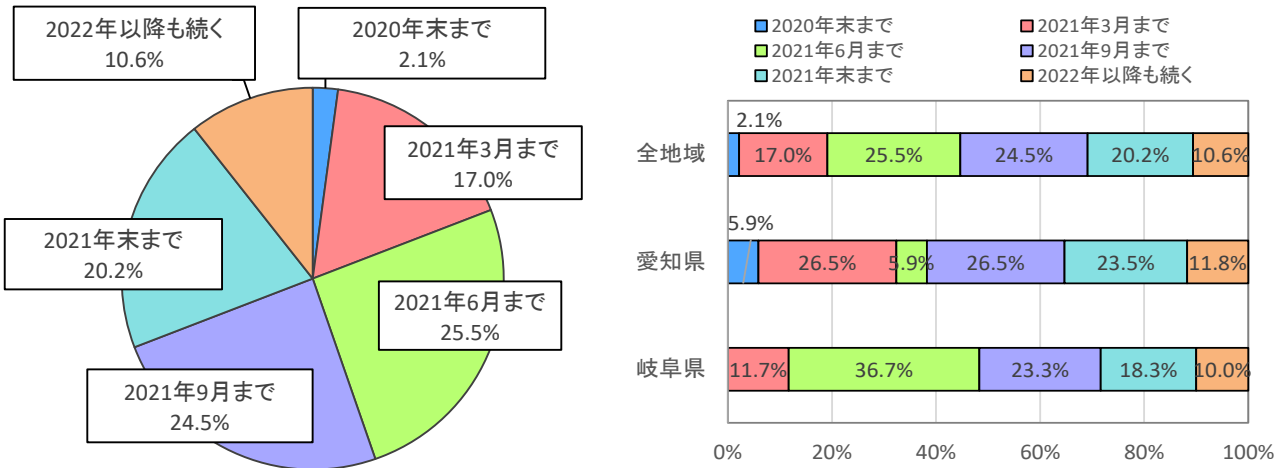
	愛知県	岐阜県
全項目の影響度	<p>新型コロナによる地域経済への影響度（愛知県・各項目）</p> <p>景気全般 20年9月期(前回調査) 2.3, 20年12月期 2.0</p> <p>雇用 2.1, 個人消費 2.2, 生産活動 2.1, 設備投資 2.3, 企業収益 2.4, 資金需要 2.0</p>	<p>新型コロナによる地域経済への影響度（岐阜県・各項目）</p> <p>景気全般 20年9月期(前回調査) 2.0, 20年12月期 1.8</p> <p>雇用 1.8, 個人消費 1.8, 生産活動 1.9, 設備投資 1.9, 企業収益 2.3, 資金需要 2.0</p>
景気全般	<p>■影響はない □ややある ■かなりある ■非常に大きい ■極めて大きい</p> <p>20年9月期(前回調査) 8.1%, 37.8%, 27.0%, 27.0%</p> <p>20年12月期 24.3%, 41.9%, 17.6%, 16.2%</p> <p>21年3月期見込み 20.3%, 44.6%, 24.3%, 10.8%</p>	<p>■影響はない □ややある ■かなりある ■非常に大きい ■極めて大きい</p> <p>20年9月期(前回調査) 11.2%, 45.9%, 23.5%, 19.4%</p> <p>20年12月期 33.7%, 38.8%, 21.4%, 6.1%</p> <p>21年3月期見込み 36.7%, 39.8%, 17.3%, 6.1%</p>
個人消費	<p>■影響はない □ややある ■かなりある ■非常に大きい ■極めて大きい</p> <p>20年9月期(前回調査) 18.9%, 32.4%, 27.0%, 21.6%</p> <p>20年12月期 32.4%, 31.1%, 23.0%, 13.5%</p> <p>21年3月期見込み 28.4%, 33.8%, 23.0%, 14.9%</p>	<p>■影響はない □ややある ■かなりある ■非常に大きい ■極めて大きい</p> <p>20年9月期(前回調査) 27.6%, 32.7%, 26.5%, 13.3%</p> <p>20年12月期 2.0%, 35.7%, 49.0%, 9.2%, 4.1%</p> <p>21年3月期見込み 2.0%, 38.8%, 40.8%, 14.3%, 4.1%</p>



(3) 地域経済への新型コロナの影響は、「2021年6月まで」が25.5%と最も多い。一方、2021年後半にも影響が続くとする回答が半数超。新型コロナによる影響は当面続く見通し。

新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くと思っているかを尋ねたところ、「2021年6月まで」が25.5%と最も多かった。「2022年以降も続く」は10.6%と、前回調査(26.7%)から減少するなど、正常化までの期間がやや短くなる傾向がみられた。一方で、2021年後半以降も影響が続くとする回答は合わせて55.3%と半数を超えている。多くの支店長が新型コロナによる地域の経済問題は当面続く想定している。

・新型コロナによる地域の経済問題はどの程度続くと思っているか



以上